

町会報

えひめ

2011
4
Vol.25

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



“トマトジャム”“じゃばらアイス”新発売 [内子フレッシュパークからり]

Contents

県町村会第1回全員連絡会	2
県市町振興課長就任挨拶／同課配席図	3
町からのお知らせ	4
第1回町議会議員研修会のお知らせ	5
県町村議会議長会第1回定例会	5
新議長紹介	6
全国町村議会議員団体保障制度[お知らせ]	7
一筆	8
4月の行事	8
編集後記	8

内子町内で契約栽培された完熟トマトを100%使用したジャムができました。

リコピンたっぷりの「麗夏」とイタリア系の「エスククトール」を使用し、果肉がゴロッと入った「トマトジャム」、内子産みかんを加えたフルーティーな「トマトジュレ」、唐辛子の王様・ハバネロを入れたエスニック風の「ハバネロトマトジャム」など、個性的な5つの味に仕上げています。また今注目のじゃばらが爽やかなアイスになって新登場しました。ぜひご賞味ください。

東日本大震災の被災地支援を

町村会第1回全員連絡会

平成23年度第1回全員連絡会は、4月28日午後3時から、県自治会館で開催した。出席者は、白石会長(松前町長)ほか県内全町長で、議事の概要は次のとおり。

◇協議事項

1 「民間犯罪被害者支援団体への財政的支援のお願い」について
堂前県警察本部警務部長から

2 えひめ結婚支援センター事業について
真鍋県子育て支援課長補佐から

3 「地域主権改革」について
進県市町振興課長から

はじめに、県の組織改正、とくに政策立案機能の充実と行財政改革の推進に向けた体制強化を目的として、総務部門と企画部門の大規模な再編を行った点を中心とした説明の後に、地域主権改革について、これまでの主な動きや現状及び今後の展望について詳細な説明があり、一同了承した。

4 「平成23年東北太平洋沖地震」に係る義援金について
白石会長から

各町のご協力により1億円強の義援金が集まっている。先の全員連絡会で、全国町村会を通じて被災地の町村にお送りすることとされていたが、現時点で全国町村会もどのように配分して届けるか確定していない。各県の動きをみると、岩手・宮城・福島県の3県の町村会に送るといふかたちをとっているようであり、本県もその3県に送ってはどうかと考えている。その配分の仕方について岩手県町村会に尋ねたところ、現地は未だ非常に混乱しているそうで、その中で本日、理事会で協議する模様である。また、宮城・福島の両県も、どのように配分するかはまだ決めかねているとのことであった。そのような状況ではあるが愛媛県町村会としては、できれば連休明けを目途に、3県に対して送付状を添えて同じ額を送金したいと考え、文書を考えてみたので、お目とおしただきたい。町によっては予定額のところもあり、最終的な義援金の額は分からないが、1億円を大きく超えるだろう。

なお、県に愛顔の助け合い基金ができ、このほど市町にも協力依頼があったところである。本日、第

1 回目の会議があり、集まった義援金をどのように取り扱うかの協議がなされた。さまざまな意見が出たが、一方的に人や物資を送っても効果的でなく、まず何が必要かという被災地の要望を聞かなければならない。したがって、人的支援は県が市町に呼びかけて、まとめたかたちで被災地に派遣することとしている。物資については徐々に改善され、現地には様々なものが届けられているが、これについても現地の要望を聞いてから送ることとしている。この基金について、何をどうするかは、これから委員会と協議して決定する予定となっており、今日の話では、すでに4千万円を超す義援金が寄せられているという。町村会としても、ぜひこれに協力していきたいと考えているが、額については全体で1億円2〜3千万円程度の義援金が集まりそうなので、岩手・宮城・福島の3県については一律3千万円を送ってはどうか。

なお、1県に対する義援金額は3千万円以上とし、最終的な額については、今後の推移を見て検討していきたい。

5 伊方原子力発電所に対する対応について
白石会長から

今回の震災で原発が大きな問題となっているが、伊方町や隣接の八幡浜市だけではなく、県全体の問題として認識するため原発についての研修会を開催してはどうか。また、県に依頼して市町一体となつて開催することも考えられる。旨、説明があり、協議の結果、開催することで承認された。

6 平成23年度町等公平事務委託費の負担について
事務局から

各町及び一部事務組合の負担総額について別紙(省略)により説明があり、協議の結果、一同了承した。

7 本会臨時総会開催について
事務局から

現役員の任期が平成23年6月5日に満了することから、次期役員を選出するための臨時総会を6月3日(金)午前11時から県自治会館4階会議室で開催したい。旨、別紙(省略)により説明があり、協議の結果、一同了承した。

8 次回の本会全員連絡会開催について
白石会長から

今回は、臨時総会を開催することから、その時に決定したいと考えている旨の説明を、一同了承した。



進 龍太郎
市町振興課長

就任のごあいさつ

四月一日付けをもちまして、総務省自治行政局過疎対策室課長補佐から異動し、愛媛県総務部管理局市町振興課長を拝命いたしました。私は、総務省兵庫県、内閣府、岡山市の勤務を経て、この度本県で勤務することとなりましたが、本県の町行政に携わるのは初めてのことでございますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて、このたびの東日本大震災では国難ともいえる甚大な被害が生じておりますが、町村会皆様方のご理解の下、発生直後から、県と一体となって被災地への職員派遣や支援物資の受付等の支援活動に御協力いただいておりますことに感謝申し上げます。今後は被災地の一刻も早い復興に向けて国・地方が一丸となって、あらゆる取組みを継続的に行っていくことが必要となっており、県としてもできる限りの支援を行っていきたくと考えておりますので、今後とも御協力をお願いいたします。また、このたびの震災を踏まえ、本県においても愛媛県地域防災計画の見直しに着手したところであり、計画を見直す中ではこれまで以上の複合災害の視点導入や訓練参加市町の拡大などが想定されており、関係市町や関係機関との協議が必要となってくると思っておりますので、よろしくお願いいたします。

こうした中ではありますが、四月には国において「国と地方の協議の場に関する法律」など三法が成立しました。念願であった協議の場が、法定化されたわけではあります。が、どう実効性のある、中身のあるものとするかが重要となります。今年度国予算には都道府県の投資的事業を対象とした地域

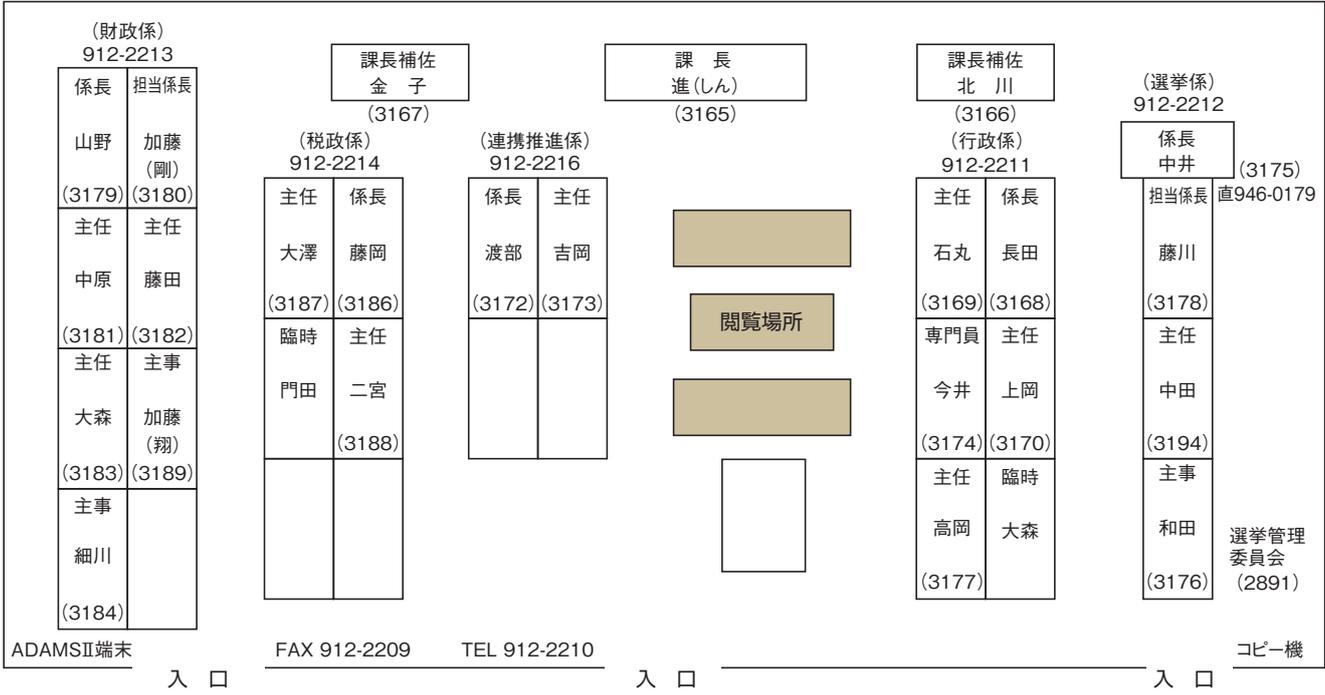
自主戦略交付金5、120億円が盛り込まれましたが、来年度以降には市町村分にも導入されることで検討が進んでおります。義務付け・枠付けの更なる見直しや基礎自治体への権限移譲、国の出先機関の原則廃止、補助金等の一括交付金化等は、現在も議論が進められており、地方分権、地域主権改革の進展とともに、地方自治体、特に基礎自治体の責任はますます大きくなっていきます。行政需要を的確に捉え、限られた財源と人員を有効に活用して住民福祉の向上や地域経済の振興を図っていくことは申すまでもありません。

こうした分権改革に的確に対応していくためにも、県と市町がこれまで以上に連携を深めることを目的に、昨年度県・市町連携政策会議を立ち上げさせていただきました。基礎自治体である市町と広域行政に携わる県が、それぞれの役割分担の中で連携・一体化して取り組んで行くことで、行政サービスを下下させることなく効率化を図っていくことや、住民サービスの向上を図っていきけるよう市町の皆様と一緒に検討を深めてまいりたいと考えておりますので、是非とも御協力をお願いいたします。

本県におきましては、町村長の皆様方をはじめ、議会、住民の皆様のご尽力により、全国でもトップレベルの規模とスピードで市町村合併が実行されてきたものと承知しておりますが、合併後のまちづくりにおいては、新たな行政需要も発生し、独創的かつ柔軟な新しい発想が求められていることと思っております。国と地方のあり方が大きく変わろうとしている動きを的確に捉えながら、各町の実情をしっかりと踏まえ、微力ではございますが、本県町行政の発展のため全力を尽くしてまいりたいと存じますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



市 町 振 興 課 配 席 図



ADAMSII端末

FAX 912-2209

TEL 912-2210

コピー機

入 口

入 口

入 口

町からのお知らせ

松前町

まさき町夏祭り 8月6日(土)

松前の夏を彩る「まさき町夏祭り」を、塩屋海岸と松前公園で開催します。

塩屋海岸で行う「はんぎり競漕」は、海上に大きな桶を浮かべて前後に漕いで競い合う、全国的にも珍しい競技です。大きな桶を巧みに乗りこなし、勇ましく漕ぎ進む姿は、松前の夏の風物詩となっています。また、スイム、ラン、はんぎりを連続して行いタイムを競う「はんぎりトライアスロン」も行います。



●お問い合わせ先
松前町夏祭り実行委員会
☎089-984-1427

また、松前公園で開催するメインイベントの盆踊りには、総勢1000人が参加し、それぞれ趣向を凝らしたパフォーマンスを披露します。最後は、打ち上げ花火が夏祭りのフィナーレを飾ります。
松前公園周辺では、夜市やビアガーデンも実施していますので、皆さんぜひお越しください。



伊方町

第26回瀬戸の花嫁まつり 8月7日(日)

伊方町三大祭りの一つとして例年賑やかに行われている「瀬戸の花嫁まつり」が、8月7日(日)に開催されます。

三机須賀公園を主会場に相撲大会やバーベキュー、魚のつかみ取り等、楽しいイベントをたくさん用意しています。
午前10時のオープニングまでに須賀会場にいられた方の中から抽選で20名の方に、バーベキュー券(2,000円、鯛めし付き)が当たりますので、お早めにご来場ください。



松屋歌謡ショーや趣向を凝らしたブライダルショーを開催します。また、商工会女性部、青年部の協力により、納涼屋台コーナーも行いますので、ご家族皆さんでぜひ遊びに来てください。



夕方からは、町民センター及び文化センター前で、今大ブレイク中のレモ

●開催場所

三机須賀公園(主会場)

●イベント予定

- 10:00~オープニングセレモニー
 - ・テープカット
 - ・瀬戸太鼓集団「風」ジュニア
 - ・浜ソーラン踊り
 - ・バーベキュー券プレゼント抽選会(20名様)
- 11:00~すもう大会(もちまき)
(小学生・青年団)
- 11:00~15:00
バーベキューコーナー
- 14:00~入場者プレゼント抽選会
- 14:30~魚のつかみ取り
- 16:00~19:00
納涼屋台コーナー
- 17:00~もちまき
ブライダルショー
- 18:00~19:00
レモンド松屋歌謡ショー

●お問い合わせ先
伊方町役場 瀬戸総合支所
地域振興室 瀬戸イベント実行委員会
☎0894-52-0113

お知らせ

県町村議会議長会主催による「平成23年度第1回町議会議員研修会が、次のとおり開催されることになりました。」

先の東日本大震災は、デフレ経済で冷え込む日本経済に、さらに打撃を与えようとしています。また、こうした自然災害に対して政治の危機管理能力が問われています。

講師は、テレビでおなじみの大阪学院大学の國定教授と時事通信社の山田政治部長です。

多くの議員ほか関係者の出席をお願いします。なお、講師プロフィールを紹介し

國定 浩一 (くにさだ・こういち) 氏

大阪学院大学 企業情報学部教授

1940年東京都生まれ。

1964年東京大学法学部卒業後、旧大和銀行入行。

新宿、虎ノ門支店などを経て、取締役。

1993年常務、1996年専務。

1998年大和銀総合研究所社長。

2003年りそな総合研究所会長。

同年10月現職。旧大和銀行(現りそな銀行)出身のエコノミスト。

熱狂的な阪神タイガースファンの「虎エコノミスト」として知られ、庶民目線による景況分析で個性的な関西経済論を展開している。

演題:「虎エコノミスト 大いに語る」、「縞模様の『関西経済』を展望する」 「景気回復はホンモノか」 - など



山田 恵資 (やまだ・けいすけ) 氏

時事通信社政治部長

1958年兵庫県宝塚市生まれ。

1982年3月上智大学文学部卒

1982年4月時事通信に入社。駆け出し時代は政治部で中曽根首相番。

1984年4月から1988年3月まで福岡支社勤務。

警察、県政、医学などを担当。

1988年4月から1991年4月まで大阪支社で警察、医学・科学などを担当。

1991年5月に政治部勤務。自民党の三塚博、森喜朗、小泉純一郎、亀井静香各氏らを担当。

その後、公明党や非自民連立の細川政権下で小沢一郎氏を担当。外務省、野党キャップ。

1997年8月ワシントン支局に赴任。ホワイトハウス、日米関係、大統領選などを取材。

2001年9月に帰国し、首相官邸キャップに。小泉首相の初の北朝鮮訪問に同行。

2002年10月から政治部デスク。編集委員を兼務。

2007年4月から解説委員兼整理部長

2008年4月から政治部長



「危機管理と政治」

時事通信社政治部長

山田 恵資氏

企業情報学部教授

「これからの日本経済」

大阪学院大学

企業情報学部教授

「危機管理と政治」

●とき 7月4日(月)

13:30~16:30

●ところ にぎたつ会館

●講師

「これからの日本経済」

「虎エコノミスト 大いに語る」

被災地に義援金を

議長会第1回定例会

4 報告

(1) 行事関係について

事務局から、前回定例会以降、4月20日までの関連行事について報告があり一同了承。

(2) 「平成23年東北地方太平洋沖地震」に係る義援金について

事務局から、このたびの大震災に当たり各町議会及び町議会議員から寄せられた義援金を、4月6日全国町村議会議長会を通じて被災地に届けることとした旨の報告があり、一同了承した。

(3) 事務局長の異動及び事務局体制について

(4) 請願・意見書等に関する定例報告について

(5) 協議

(1) 本年度議員研修会について

(2) 議長・副議長研修会について

(3) その他

次回定例会について



愛媛県町村議会議長会は、4月21日県自治会館で「平成23年度第1回定例会」を開催した。

【新議長紹介】

関本松野町議長の紹介。

1 開会

2 あいさつ

3 会議録署名人の指名

吉村会長が議長となつて、次のとおり指名した

原上島町議長

関本松野町議長

新議長紹介



伊方町議会議長
松澤周作氏
(4月25日付け)



松野町議会議長
関本良夫氏
(3月4日付け)



砥部町議会議長
中島博志氏
(2月4日付け)



内子町議会議長
林博氏
(5月13日付け)



鬼北町議会議長
松浦司氏
(5月10日付け)



久万高原町議会議長
玉井春鬼氏
(5月10日付け)



愛南町議会議長
斎藤武俊氏
(4月28日付け)

愛媛県町村会事務分担表

(平成23年5月1日 現在)

職 名	氏 名	事 務 分 担
事務局 局長 (兼) 次 長	渡 部 明 忠	総括、議長会事務局長、振興協会常務理事・事務局長 総合事務組合事務局長
総務課 課 長 議長会次長	柏 原 準	<ul style="list-style-type: none"> ・町村会、議長会運営関係(会計除く)、職員人事管理関係(町村会・議長会)に関すること。 ・総合協議会(水道協会、清掃、山村振興、水産業、下水道、ダム所在・発電関係)、過疎自立促進、人権協会、監査協関係に関すること。(会計を除く) ・各種研修会、要望陳情、町会報えひめ発刊、物資斡旋、軽自動車税申告書の取扱、ホームページ管理、文書発送会計に関すること。 ・全国町村会共済事業、生活協同組合事業、(財)全国自治協会共済事業(公有・生協自動車事故処理関係含む)に関すること。 ・町議会議員互助事業、議員補償制度に関すること。 ・その他の課に属さないものに関すること。
(兼) 課長補佐	向 井 政 明	
係 長	岩 田 美 保	
係 長	久 保 真 澄	
係 長	清 川 敦	
書 記	丹 下 浩 明	
会計課 課 長 会計管理者 振興協会出納役	向 井 政 明	<ul style="list-style-type: none"> ・会計全般、給料関係に関すること。 ・市町村職員共済組合・互助会に関すること。
係 長	重 松 美 智 子	
事業課 課 長	田 村 み ち え	<ul style="list-style-type: none"> ・総合事務組合(退職手当・消防補償・交通災害・自治会館・議員公務災害の庶務)、振興協会の業務等に関すること。(会計を除く)
主 任	田 窪 浩 司	
主 査	原 田 祐 子	
主 査	中 井 貴 志	

全国町村議会議員 団体補償制度

(傷害総合保険)



ワイドな 補償

●議員本人の公務中のケガから日常生活のケガまで、国内・海外を問わず補償します。

- ・夫婦型に加入すると、配偶者のケガも補償の対象となります。
- ・既に他の傷害保険等にご加入の場合にも、ご加入できます。

●ご家族全員の、日常生活の賠償責任も補償します。

●全国の町村議会議員の皆さまのための制度です。

- ・議会議員を退職後も、継続してご加入いただけます(掛金は口座振替となります)。
- ・町村議会議員等、町村議会関係職員、系統町村議会議長会職員が加入できます(現職加入者)。
- また、現職加入者から継続の場合にかぎり、退職後も継続して加入できます(退職者継続加入者)。

お手続きは 簡単です。

●ご加入の際、医師の診査は不要です。ご年齢に関係なく、ご加入いただけます。

●掛金(保険料+運営費)は、本人型：年間22,000円・夫婦型：年間35,000円です。

●保険期間は1年間です。以降1年毎に自動更新となりますので、お手間が掛かりません。

●加入タイプ(本人型・夫婦型)変更は、7月補償開始(締切日6月17日)のときだけの受付となります。

このポスターは概要のご案内です。詳しくは下記までお問い合わせください。

【保険契約者】全国町村議会議員互助会

【取扱代理店】株式会社 まちむら
〒102-0082 東京都千代田区一番町25全国町村議員会館 3階
TEL: 03-3264-6830 / FAX: 03-3264-8308

【引受保険会社】株式会社 損害保険ジャパン

SJ11-00744 2011.4.21



列島一体で復興を

『兔追いしかの山 小鮒釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れがたき故郷』の唱歌が応援歌として聞こえて来る故郷びつたりの東北地方は、今、桜の花が満開である。未曾有の大震災から50日…。自然の脅威と裏腹に純白にピンクをおびた桜花も自然の成せる業。花びらが舞い落ちる風情に美しさを感じる日本人の季節である。

長寿国家として世界に名を馳せ、高齢社会先進国の日本は、ついこの間まで、例えば130歳を超す高齢者の生死が身内でも掴みきれず、内外から嘆かわしい思いを募らせていた。また、進化した社会の片隅で高齢者の孤独死が出るなど、無縁社会の現実には危惧していたが、今回の不幸事の中から、無縁社会を吹っ飛ばす「連帯・絆」が人々の中に生まれただ。元来、農耕民族として、好戦的でなく、笑いの中に「おせっかい」ともつたいないで慎ましく、しかも偏らず八百万の神を持ち、倫理に秀でた国民である。無論、国境の雲の間に見え隠れ、偵察活動するよくな他人の弱みに乗じた行動など考えられない日本人。

今、日本、人が資源の国として、その人々が真つ当に生産する姿勢を諸外国に誇り、PRすべきであろう。

まして農水産物、観光地の安全性は、十分に風評被害に勝るものである。今日のようなグローバル社会でこそ、あらゆる手段を使い正確な情報発信と、それなりの人々による行動力が必要である。支援は、感謝しつつも根拠と説明の全くつかないような諸外国における風評と国内での理解の一部無さは「無情報化時代」に等しい。生きた情報を正確に発信しなければ「情報化時代」とは言い難い。それについても被災者の心労は筆舌に尽くせない。また各被災地で走り回る自身が被災者でもある市町村職員が、警察、消防諸氏の懸命な頑張りが、第一線の無事故と復興に繋がることを確信する。

「今回の事故は」想定外の事を想定しなければならぬから、天災でなく人災である。」(某副社長の個人的な意見)ただ自然に対する想定の数値設定は、元々おこがましい。人間と自然は共生であって、自然力の征服など誰しも皆無と思っている。そのため想定ならば、次の一手、二次、三次、四次、五次・・・と構築しておかなくてはおかし。

兎に角、風評と保身を排し、日本列島一体となつて、東日本の復興に当たらねばならない、特に今は、思慮深い中で決断と即実行が強く望まれる。

「運は、常に思慮者の味方として戦う」
(クリチアス ギリシヤの政治家)

4月の会と催し

- ▽11日 平成23年度会館管理組合事務打合せ
- ▽12日 公務災害連合会職員研究会、町村議会議員共済会事業説明会、(財)全国町村議員会館事業説明会、全国町村議会議員互助会事業説明会全国町村議長会都道府県職員研究会
- ▽13日 全国町村議長会都道府県職員研究会
- ▽14日 都道府県町村会事務局長会議及び事務局長研修会
- ▽15日 新旧局長の異動に伴う全国町村会等への挨拶、打合せ
- ▽18・19日 (財)愛媛県市町村職員互助会事務周知会
- ▽20日 全国町村議長会「地方議会運営の実務一検討委員会、同連絡調整会議、内外情勢調査会松山支部懇談会、第28回ふるさと振興賞顕彰式・祝賀会
- ▽21日 平成23年度振興協会研修担当者会議、平成愛媛県町村議長会23年度第1回定例会
- ▽22日 愛媛県租税教育推進協議会幹事会
- ▽23日 平成23年度愛媛県植樹祭
- ▽25日 松山空港利用促進協議会監事監査、平成23年度プロスポーツ地域振興協議会総会
- ▽26日 愛媛県保健医療対策協議会
- ▽28日 愛媛県農業会議4月定例会常任会議員会議、(財)えひめ海づくり基金評議員会、第1回えひめ愛媛の助け合い基金運営委員会、愛媛県町村会平成23年度第1回全員連絡会

編集後記

東日本大地震による被災地では、復興に向けて懸命に取り組んでおられますが、原発問題等によって依然思うに任せない状況と聞いております。

私たちは、いてもたってもいられない思いですが、被災地の支援に向けてどういうことができるのか、一人ひとりが考えましょう。

◇ こうした中、愛媛県町村会と同議長会では、県下全町・全町議会の理解と協力を得て、関係県に対して義援金をおくることを決定しました。東北地方の復興がなければ、日本の復活と繁栄はあり得ません。一日も早く東北地方が元気に復活するために、みんなでスクラムを組んで、がんばりましょう。

◇ それにしても、未曾有の被害にあいながら瓦礫の中でその困難に立ち向かう姿、持ち前の人々の粘り強さ、復興にかける関係者の並々ならぬ意気込みに胸が熱くなります。

◇ 本会事務局長が次のとおり異動しました。

新任 渡部 明忠 (4月1日付)
退任 西森 弘導 (3月31日付)

また、事務局組織も若干の異動がありました。分担当を6面に記載しておりますのでご覧いただき、何なりと担当にお申し付けください。本年度も、よろしくお願ひ申し上げます。